

CGRP 関連新規片頭痛治療薬ガイドライン（暫定版）

緒言

片頭痛の病態にカルシトニン遺伝子関連ペプチド（CGRP）が重要な役割をはたしていることが解明され、CGRP をターゲットとした新規薬剤が開発されています。

わが国でも2021年4月に抗CGRP抗体・ガルカネズマブ（エムガルティ）が承認され日常診療での使用が可能となりました。日本頭痛学会、日本神経学会、日本神経治療学会が合同で頭痛診療ガイドラインの改訂作業を進めており、改定版にはCGRP関連新規片頭痛治療薬についても掲載予定ですが、日本頭痛学会では診療向上委員会、ガイドライン委員会が合同で、喫緊の対応としてガルカネズマブの使用に関する手順や留意事項をまとめた暫定ガイドラインを公開いたします。

緒言 竹島多賀夫、荒木信夫、平田幸一

CQ1 CGRP は片頭痛の病態にどのように関与をしているか

辰元宗人、工藤雅子、永関慶重

CQ2 抗CGRP抗体は片頭痛の発作発現抑制に有効か

柴田護、松森保彦、粟木悦子

CQ3 抗CGRP抗体（ガルカネズマブ）はどのような患者に使用するか。またどのように投与するか

菊井祥二、高橋祐二、五十嵐久佳

各項目を上記委員が中心となって取りまとめ、両委員会で検討し、理事会の承認を得て公開いたします。

片頭痛患者を診療する多くの医師・医療従事者に「CGRP関連新規片頭痛治療薬ガイドライン（暫定版）」をご活用いただき、頭痛医療の進展と片頭痛患者の福音となることを期待しています。

なお、現在申請中のフレマネズマブ、エレヌマブについても年内の承認が見込まれており、状況に沿って本ガイドラインの追加、改訂を進めてまいります。

2021年5月25日

- 追記 2021/08/23

2021年8月に抗CGRP抗体・フレマネズマブ（アジョビ）及び抗CGRP受容体抗体・エレヌマブ（アイモビーグ）が承認されましたので、CQ4, CQ5を作成し追加公開しました。

CQ4 抗 CGRP 抗体（フレマネズマブ）はどのような患者に使用するか。またどのように投与するか

菊井祥二、粟木悦子、五十嵐久佳

CQ5 抗 CGRP 受容体抗体（エレヌマブ）はどのような患者に使用するか。またどのように投与するか

菊井祥二、工藤雅子、五十嵐久佳

追記 2022/5/9

CGRP 関連抗体薬と既存の予防薬の併用療法に関して、CQ6 を作成し、追加公開しました。

CQ6 CGRP 関連抗体薬と既存の予防薬の併用療法はどのように実施するか

辰元宗人、菊井祥二、五十嵐久佳

追記 2022/7/21

2022 年 5 月より抗 CGRP 抗体（ガルカネズマブ）の在宅自己注射が可能になりましたので、CQ7 を作成し、追加公開しました。

CQ7 抗 CGRP 抗体（ガルカネズマブ）の在宅自己注射の導入はどのように行うか

菊井祥二、松森保彦、柴田護

追記 2022/12/15

2022 年 9 月より抗 CGRP 受容体抗体 抗体（エレヌマブ）の在宅自己注射が可能になりましたので、CQ8 を作成し、追加公開しました。

CQ8 抗 CGRP 受容体抗体（エレヌマブ）の在宅自己注射の導入はどのように行うか

菊井祥二、松森保彦、柴田護

追記 2023/02/09

2022 年 11 月より抗 CGRP 抗体 抗体（アジョビ）の在宅自己注射が可能になりましたので、CQ9 を作成し、追加公開しました。

CQ9 抗 CGRP 抗体（フレマネズマブ）の在宅自己注射の導入はどのように行うか

菊井祥二、松森保彦、柴田護

追記 2023/12/20

CGRP 関連抗体薬の休止や再開についてのエキスパートオピニオンを作成しましたので、追加公開しました。

CGRP 関連抗体薬の休薬と再開に関するエキスパートオピニオン

柴田 護、菊井祥二、松森保彦

2023 年 12 月 19 日

日本頭痛学会

診療向上委員長 柴田護

ガイドライン委員長 柴田護

代表理事 竹島多賀夫